

# ユビキタス親子のユビキタスな生活

近々未来的日常

このコーナーでは、ずいぶんと身近になってきたユビキタスコンピューティングの動向をドラマ形式でご紹介します。登場する人物はすべて架空ですが、登場する技術はすべて実用化済のもの、あるいは実証実験中のものです

【前回のあらすじ】

神田神保町の古本屋の主人本多一郎さんは一人息子の翼君とユビキタスの最先端実験が行われているイネーブル島へやってきました。案内してくれるのは、ユビキタス未来研究所の天馬博士です。携帯情報端末での道案内や、お寿司屋さんでの電子タグを使った料金精算など、あつという間にユビキタスの世界になじんだ翼君に比べて、いまだに家の黒電話を変えようとしないうお父さんは少し困惑さみ。お寿司屋さんで腹こしらえをした三人は、イネーブル島で一番大きな美術館へと向かいました。

博士 「ここには世界有数の美術品がたくさん展示されているんですよ。まずカードを作ってください。」

三人は受付で自分のプロフィールを入力したカードを作り、これを持って館内を回ります。人さし指一本で入力していたお父さんもようやく入力が終わり三人は博士を先頭に館内を回り始めました。展示品の前にはディスプレイがあり、博士が自分のカードを読み取り機にかざすと画面に展示品の説明が現れました。翼 すいですね、博士。でも僕には内容が難しすぎるし読めない漢字

もいっぱい...

博士 翼君のカードを読ませてもらう。翼君がカードをかざすと、さっきとは違う簡単な説明です。難しい漢字にはふりがながついていました。

\*利用者に合わせて説明  
最初に自分の年齢や職業、趣味などを入力したカードを作るとそれを展示品説明端末に読み込ませると、あらかじめ登録したプロフィールにあわせて説明がされます。小学生なら平易な言葉づかいで漢字にもふりがなが振られます。子供でも知識豊富な場合には漢字のふりがななどはそのまま、説明内容は高度なものになります。言語を指定しておけば英語などの説明を受けることもできます。

翼 お父さんすいね！ こんなわかるの？

お父さんは見栄を張って「フランスの美術専門家」で登録したので最も専門的な説明がフランス語でされました。立ち尽くすお父さんを置き去りにして、翼君は次々にカードをかざして説明文を読んでいます。

翼 博士、すこく楽しかったです。わかりやすかつし勉強になりました。ね、お父さん。

父 ……  
博士 今晩はうちでパーティーをしましょう。すみませんがスパーに付き合ってください。

美術館を出た三人が向かったのは

近くのスーパーマーケット。博士は自分のICカードを取り出して買い物カートにもつきました。

父 おお、このカートにはテレビがついている。女房の買い物に付き合うのも退屈しなくていいな。  
博士 これはAppleTVじゃないんです。博士がそう言うてそばにあったキャベツをカートにセットされている読み取り機にかざすとカートのテレビ画面にキャベツの詳細情報が表示されました。生産者、使った農薬の種類や量、加工者、流通経路など、様々な情報が表示されています。

博士 この農家は無農薬で作っているんです。加工業者も仕事丁寧で評判のところが。

\*食品トレーサビリティ  
包装に付けられたRFID電子タグを読み取り機にかざすと、農産物なら産地、出荷日、使用農薬などを表示できます。生産段階から加工段階、流通段階、それぞれの段階で発生する情報を記録する仕組みを作ることによって、何か起きた場合に速やかに情報を把握して必要な対応をとることが可能になります。

博士 翼君の好きなお菓子も買ってくださいか。

翼 ありがとうございます！博士。博士 私の母親が好きな煎餅も買ってくださいませう。

博士がお菓子売り場で煎餅をカートに入れようとするとアラームがなりました。

博士 ああ、この煎餅にはそば粉が含まれていますね。私の母親はそばアレルギーなのでこれは買えないな。

\*アレルギー情報のチェック  
自分専用のICカードにアレルギー情報をセットしておけばそのチェックもしてくれま

博士は煎餅を陳列棚に戻してカートのボタンを押しました。画面にはこれまでの合計額が表示されます。

『牛乳は買わなくていいですか？』のコメントも表示されました。  
博士 おう、牛乳を忘れていた。

\*合計額表示 買い忘れ防止  
以前の買い物データをICカードに入れておけば、買い物内容を自動的にチェックして買い忘れの警告を出してくれます。また、その時点での合計額が表示されるので、買

父 合計金額もわかるのか...

翼 そついえばお父さん、この前レジでお金足りなくなつて、ビールを発泡酒に変えに戻つたものね。  
父 そつそつ、レジに人が並んでいたら待たせちゃ悪いとケース持って走つたら腰を痛めて、とそんなこと言わなくてもいいんだ、翼。

博士 さあ、そろいました。私の家に向かいますよ。  
博士はカートを押したままレジを

通り抜けれます。お金を支払う様子

もありません。  
父 天馬さん、あんた昔はそんなじゃなかった。若い頃の貧乏なときだつて払うもんは払っていた。研究者として大成したと思つていたが、ここまですでに金に困つていたとは。わかつた、ここは私が出そう。でも二度とこんなこととは...

博士 いや、支払いは済んでいますよ。  
\*電子タグでの会計とキャッシュレス支払い  
電子タグは会計にも役立ちます。無線で読み取るので、バーコードのように二つ三つ光を当てて読み取らなくても、タグのリーダーをかざせば一度に支払額がわかります。自動引き落としの契約をしておけば支払いもキャッシュレスで行えます。

翼 お父さん置いてくよ

(次号に続きます)

著作権の関係上、表示できません。